

部会意見整理表

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
	共通				
1	加藤委員	KPIについて、目標値が未達成のものについてのみ評価を行うのではなく、達成したものについても評価に記載したほうが良い。	ご意見については、進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。	地域政策課	
2	大塚委員	総合戦略の計画期間の中間年を越えたことから、これまでの取組みの効果について調査・振り返りを行う必要がある。	ご意見を踏まえ、総合評価欄に反映しました。	地域政策課	
3	平井委員	総合戦略の残り期間で何を実施するべきか、市町村とも連携しながら検討を行う必要がある。	ご意見を踏まえ、総合評価欄に反映しました。	地域政策課	
4	平井委員	総合戦略の計画期間の中間年を越えたことから、2019年の目標値をすでに達成しているKPIについては、「順調」を超える「極めて順調」なのか、見直しをして目標値を上方修正する必要があるのかについて、検討していく必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	各局 地域政策課	
5	関委員	総合戦略の計画期間5年のうち3年が経過し、これまでの取組みの振り返りを行い、残り2年間についてもその視点を意識して評価を行う必要がある。	ご意見を踏まえ、総合評価欄に反映しました。	地域政策課	
6	平位委員	これまでの評価の推移を時系列でまとめた資料があると良い。	次回推進会議で資料をお示しします。	地域政策課	
7	田中委員	それぞれの取組みやKPI等について、もう少し普遍的で分かりやすい記載や目標設定であるほうが、県民や第三者の目線から見たときに理解を得やすいのではないかと。	ご意見については、進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。	地域政策課	
8	林田委員	KPIの取組みが最終的にどう数値目標に反映していくのかが分かりにくい。目標ごとに横串を刺すという視点から評価を行う必要がある。	ご意見については、進行管理等の課題として今後の参考とさせていただきます。	地域政策課	

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
	基本目標 1				
9	平井委員	生産年齢人口の就業率について、正規雇用・非正規雇用の分析を行い、どのような就業実態があるのかをしっかりと把握し、評価していく必要がある。特に女性は非正規雇用率が高く、どのように正規雇用を促進していくかが重要である。	二次評価(案)に反映しました。	産業労働局	<p>順調に進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口の就業率について、正規雇用・非正規雇用の分析を行った上で、不本意ながら非正規で働く人の正規雇用に向けた取組みをさらに促進する必要があります。 観光産業の振興について、体験型ツアーの企画・商品化などの取組みが観光消費額の増加に目に見える効果として現れていないことから、その要因を分析し、効果的な取組みを進めていく必要があります。 マッチングの成功事例を紹介するなど、専門的知識・ノウハウを持ったプロフェッショナル人材の認知度向上に向け、取組みをさらに進めていく必要があります。
10	平井委員	観光産業の振興に向けた取組みが、観光消費額総額につながっておらず、分析を行う必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	国際文化観光局	
11	平井委員	神奈川は地域ごとに多様性に富んだ特性を有しており、次の施策を検討する材料として活用するため、エリアごとの実態を分析し、どのような施策がプラスの政策効果を及ぼしているかが示されると良い。	ご意見を踏まえ、総合評価欄に反映しました。	政策局 産業労働局 国際文化観光局	
12	ジャーマン委員	専門的知識・ノウハウを持ったプロフェッショナル人材の認知度向上に向けた取組みをさらに進めていく必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	産業労働局	
13	ジャーマン委員	エリア別の分析を行う際には、「県内で開業した企業の開業率」については開業を検討している企業数をその決定率推移、また、「観光消費額」については、エリア別の宿泊施設件数と平均稼働率の推移があると様々な分析が可能になる。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	産業労働局 国際文化観光局	
14	末永委員	ロボット関連産業の創出育成について、AIなどの新しい概念についても県民の関心を高める工夫を行うべき。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	産業労働局	
15	前迫委員	企業の事業承継支援について、国では相続税などの税制優遇措置があるが、県でもセミナー開催などインパクトのある施策を実施できると良い。	ご意見を踏まえ、評価報告書(案)の記述を修正しました。	産業労働局	

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
16	大塚委員	観光産業の振興に向けた取組みが、観光消費額総額につながっていない。取組みの追加やKPIの追加等を検討する必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	国際文化観光局 地域政策課	
17	大塚委員	KPI「英検準2級以上の英語力を有する県立高校生の割合」について、英語学習への意欲を高めるために何が必要か、「今後の課題と対応方向」に記載する必要がある。	ご意見を踏まえ、評価報告書(案)の記述を修正しました。	教育局	
18	小川委員	農業についても地域格差があり、鳥獣被害対策など取組みを進めていく必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	環境農政局	

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
	基本目標 2				
19	室田委員	県だけでなく市町村と広域で連携して実施する事業等について、市町村との情報共有を密に行い、市町村の特性やニーズを尊重して、神奈川全体として取組みが必要なものについてメリハリを持って取り組んでいく必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	政策局	<p>概ね順調に進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県だけでなく市町村と広域で連携して実施する事業などについて、市町村との情報共有を密に行い、市町村の特性やニーズを尊重して、神奈川全体として取組みが必要なものについて取り組んでいく必要があります。 ・ZEHについて、住宅の施工主となる県民にそのメリットを伝えるほか、中小工務店にZEHのノウハウを伝える研修を行うなど、普及に向けた取組みを進める必要があります。 ・外国人観光客の誘致促進に向けた取組みについて、関係するKPIは大きく達成しているものの、数値目標「外国人旅行者の訪問者数(暦年)」の2019年の目標値まではまだ大きな開きがあるため、より効果的な取組みを進めていく必要があります。例えば、海外への情報発信については、日本在住の外国人を活用し、様々な国々のコミュニティなどを通じて自分が住んでいる地域の魅力について発信してもらうなど、幅広く取組みを行う必要があります。
20	室田委員	ZEHについて、日本全体でのニーズや動向をつかみ、取組みを進める必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	産業労働局	
21	室田委員	入込観光客数について、日本全体の動向などのデータも資料に記載する必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	地域政策課 国際文化観光局	
22	柏木委員	ZEHについて、小規模な工務店にもそのメリットが伝わるよう、普及啓発に向けた取組みを進める必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	産業労働局	
23	立山委員	外国人観光客の誘致促進に向けた取組みについて、設定したKPIはいずれも高い達成率を上げているが、数値目標「外国人旅行者の訪問者数(暦年)」について、2019年の目標値まではまだ開きがあるため、より効果的な取組みを進めていく必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	国際文化観光局	
24	タパ委員	外国人観光客の誘致促進に向け、日本在住の外国人を活用し、様々な国々のコミュニティなどを通じて自分が住んでいる地域の魅力について発信するなど、幅広く取組みを行う必要がある。			
25	山崎委員	「三浦半島魅力最大化プロジェクト」と「かながわシープロジェクト」について、現在設定されているKPIで評価が行えるのか疑問がある。計画の残り期間で、別の評価の指標を検討する必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	政策局	

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
	基本目標 3				
26	大塚委員	不妊治療について、男性の不妊も含めた啓発活動の実施や、助成に対する申請時の負担軽減についても取組みを進めていく必要がある。	二次評価（案）に反映しました。	健康医療局	<p>概ね順調に進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療について、男性の不妊も含めた啓発活動など、取組みを進めていく必要があります。 ・事業所における女性管理職の割合の増加に向け、海外企業の取組事例などの分析や、登用の決定権を持つ企業幹部を対象にしたセミナーを開催するなど、より効果的な取組みを進める必要があります。 ・ワーク・ライフ・バランスについて、経済面から見ても取り組む価値があるということが分かるよう示した上で取組みを進めていく必要があります。 ・男性の育児休業について、その取得率だけではなく、実際に何日休んだのかなどを把握・分析した上で、効果的な取組みを進める必要があります。
27	ジャーマン委員	男女共同参画の推進について、なかなか実行に移されていないと感じる。女性の管理職を増加させるため、海外の事例を検討することも必要である。	二次評価（案）に反映しました。	福祉子どもみらい局 産業労働局	
28	平松委員	女性管理職の割合を増やすためには、企業幹部を対象にしたセミナーを開催する必要がある。			
29	大塚委員	ワーク・ライフ・バランスが経済的にも価値があるものであるということが施策の中でも分かるようにする必要がある。	二次評価（案）に反映しました。	産業労働局	
30	大塚委員	基本目標3の若い世代の経済的基盤の安定を図るという点は、基本目標1の企業活動との連動性が非常に強い分野であることから、両方の視点から見ていく必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	健康医療局 福祉子どもみらい局 産業労働局 教育局	
31	大塚委員	働き方改革について、テレワークの利用率やサテライトオフィスの誘致件数をKPIに追加するなど、KPIの見直しを図っていくべき。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	産業労働局 地域政策課	
32	大塚委員	子育てを応援する社会の実現に向けて、様々な取組みを進めていることが読み取れる。この部分についてはしっかりと評価を行うべき。	ご意見を踏まえ、総合評価欄に反映しました。	地域政策課 福祉子どもみらい局	
33	加藤委員	女性の就業率については、非正規雇用の女性が増えていることから、しっかりとその動向を見ていく必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	福祉子どもみらい局 産業労働局	
34	加藤委員	仕事と子育ての両立支援策等により出生率が上昇しても、出生数が減少する状況が今後増加していくため、出生率だけでなく出生数についても目標の設定を検討する必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	政策局	

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
35	加藤委員	結婚の希望をかなえる環境づくりについて、現状のKPI2つだけでは指標として十分とは言えないことから、KPIの見直しや追加について検討する必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	福祉子どもみらい局 地域政策課	
36	末永委員	国、市町村、県の施策の一覧を作成し、全体を見渡せるような仕組みがあると、政策を考える際に効果的である。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	全局	
37	末永委員	妊娠・出産を支える社会環境の整備について、現状のKPIでは不足しており、KPIの追加について検討する必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	健康医療局 地域政策課	
38	平井委員	事業所における男性の育児休業取得率について、パーセントで分析するだけでなく、育児休業の取得日数についても把握・分析を行い、育児休業取得を促進する取組みを行う必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	福祉子どもみらい局	
39	前迫委員	企業が働き方改革に取り組む上で必要なシステム投資について、中小企業の負担軽減などに官民一体で取り組んでいく必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	産業労働局	

NO	委員名	意見	対応	担当局	二次評価（案）
	基本目標 4				
40	タパ委員	KPIの達成率にそれほど差異が無いにも関わらず、小柱間で県の一次評価に違いがあることに違和感がある。	二次評価(案)に反映しました。	県土整備局 地域政策課	概ね順調に進んでいます。 ・空き家対策については、市町村の「空き家等対策計画」の策定に向けた支援などにより、適正管理や利活用について、引き続き進めていく必要があります。 ・鉄道の延伸や幹線道路の整備はもちろん、道路と鉄道の立体交差化など交通のボトルネックの解消にも、引き続き取り組んでいく必要があります。
41	平位委員	人口減少社会に対応したまちづくりの推進について、「空き家対策をしっかりと進める必要がある」と二次評価で補足を入れたほうが良い。			
42	林田委員				
43	牛山 部会長				
44	立山委員	鉄道の延伸や道路整備はもちろん、道路と鉄道の立体交差化などについても取り組んでいく必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	県土整備局	
45	室田委員	県民ニーズ調査について、年代別のクロス集計を行い、神奈川県に住みたい人、住み続けたくない人にどのような特性の違いがあるか分析し、結果について、評価報告書にも記載する必要がある。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	政策局	
46	室田委員	個性豊かなまちづくりの推進について、地域らしさを多様に捉えた評価報告書にすべきで、現状の3つのKPIだけでそれを検証することは困難であり、様々な地域が目標として持っている共通事項等をKPIに設定するなど、検討を行う必要がある。	ご意見については、総合戦略の改訂により、目標値の見直し、KPIや主な取組みの追加等を検討してまいります。	県土整備局 地域政策課	
47	林田委員	活力と魅力あふれるまちづくりの推進に向け、市町村や地域の人と共に理想像を描き、それに基づいた取組みを進めていくと良いのではないかと。	ご意見については、事業実施の中で参考とさせていただきます。	県土整備局 教育局 健康医療局 安全防災局 福祉子どもみらい局	